

# 西宮ロット・エ・ガロンヌ交流市民の会

2012. 9. 12 VOL. 105 発行者：会長 森田 正樹／編集：広報部



## いよいよ NLeG 友好訪問団が訪仏します

ロット・エ・ガロンヌ県、アジャン市と西宮の提携 20 周年の今年、4 月にはロット・エ・ガロンヌから「西宮の友の会」の 13 名の皆さんをお迎えしましたが、10 月には我々 NLeG から 17 名の方がロット・エ・ガロンヌを訪問します。10 月 6 日(土)～13 日(土)の 1 週間、一部、西宮市の公式訪問団と合流して公式行事にも参加しますが、NLeG ならではのオプションツアーも用意され、特に、西宮の友の会の会員さんの企画による交流の一日など、楽しそうなプログラム満載です！皆様にも『行ったつもり』で思いをはせていただけるよう、スケジュールの一部をご紹介します。

### 10 月 6 日(土) 出発

### 10 月 7 日(日) 西宮の友の会の会員と過ごす一日

アジャン市内の日曜朝市、ブドウの収穫体験、ブドウ収穫労働者の昼ごはんをピクニックで。ハイキングしつつアルマニャックの蒸留所へ。ソモン城にて食事とお楽しみの余興(ゲーム、くじ引きなど)

### 10 月 8 日(月) 公式訪問団と同行する一日

アジャン市内を徒歩で散策。運河、美術館見学。プラム栽培農家訪問。県議会表敬訪問。西宮の友の会による友好写真展のオープニング。公式夕食会。

### 10 月 9 日(火) オプションな一日

- ① 自転車で運河沿いを散策
- ② トリュフ探し(トリュフ犬と共に)と試食
- ③ 公式訪問団と共に「ビュゼのワイナリー」、「ネラック」、「バイズ川遊覧」

以上の 3 グループに分かれ、それぞれ友の会の会員の皆さんの同行のもと過ごす。その後、公式訪問団と合流してアジャン市役所表敬訪問。レストラン” マリオッタ “にてマリオッタ氏による特別メニューの夕食。

### 10 月 10 日(水) カルカソンヌへ

トマ君はじめ、友の会の会員何人かも同行！

世界文化遺産カルカソンヌ城塞内と伯爵の城見学。カルカソンヌにて夕食、宿泊

10月11日(木) アルビへ

聖セシリア大聖堂、トゥールーズ・ロートレック美術館見学

トゥールーズにて夕食、宿泊

10月12日(金) 公式訪問団と合流して帰国の途へ

観光のみならず、盛りだくさんな交流場面が期待できそうです。NLeG 全体を代表して、友好を深めてきていただきたいですね。訪問団参加のみなさまの、旅行の無事を祈りつつ、旅行記、報告を楽しみにお留守番しましょう！！

(佐藤・記)



## カランドリエ「フランス旅行の準備」

今回ロット・エ・ガロンヌ県、アジャン市と西宮市の友好提携 20 周年を記念して、10 月にフランスへ行く NLeG 会員訪問団と西宮市公式訪問団のためにフランス旅行基礎知識をお伝えします。旅慣れた会員の方々はもちろん、公式および一般参加の方々も、既にご存知のこともあるとも想像しますがおつきあい願います。

フランスは挨拶がとても重要な国です。店員さんへ挨拶なしで、お店に入ろうものなら、その後の質問とか支払いまでずっと、あなたの存在自体を無視される憂き目にあいます。

こんにちは：「ボンジュール」よりは「ぼんじゅう～」の方が通じやすい発音です。  
こんばんは：「ボンソワール」よりは「ぼんそわ～」の発音でしょうか。  
ありがとう：「メルシー」よりは「めうし～（雌牛と覚えてください）」の方がよいかも。  
さようなら：「オルボワール」よりは「おうぼわっ」  
何かを頼む時は：「シル・ヴ・プレ」で声をかけてください。

パリなどの都会では事情が違ふかもしれませんが、郊外ではすれ違いざまに「ぼんじゅう～」と見知らぬ人たちと挨拶をかわすことも珍しくありません。特に田舎の公園で

は挨拶は必須です。フランスに住んでいたときに、夫が夕暮れ時の公園をジョギングしていたことです。薄暗くなりかけ、早く帰宅しようと考えていたときに公園の前方から、少しやんちゃなお兄ちゃんたちの集団が革ジャンに手をいれてやってくるのが見えて、少し緊張が走ったそうです。すれ違いざま意外にも強面の少年達は礼儀正しく「ぼんそわっ」と一人一人が挨拶を夫に向かってしてくれたそうです。夫も負けじと「ぼんそわっ」と、一人一人に返事したとのこと。挨拶は「わたしはあなたに悪意を抱いていませんよ」という意思表示なのかなと感じました。もし、暗い田舎の夜道で挨拶なく睨みつけてきたら、逃げる準備にかかってください。

また、夫がフランスの事業所で働いていたことです。日本で入社すると同僚皆に、もしくは数人に向かって「おはようございます！」と言いますよね？フランスではオフィスに入ると、個人個人に対して丁寧に「ぼんじゅう」と握手していきます。ここで重要なのは誰と挨拶したかを覚える、ということです。うっかり、朝の数時間後に会社の廊下であった同僚に当日 2 回目の挨拶を言うと「……？」と無視されます。おおらかなラテン気質のフランス人は、この挨拶は今日誰とかわしたか、驚くほど正確に覚えています。挨拶済みと勘違いして、挨拶しないと相手は「これは怒っているとか気に入らないという意思表示かな？」と考えます。日本人が感じるより、挨拶なしをフランス人はとても否定的な態度として受け取るのでご注意あれ。

挨拶といえば、男性から女性に肌に触れる挨拶を求めてはいけません。少し親しい挨拶として、女性から男性に握手を求められれば、握手の挨拶です（女性同士、男性同士は気にすることはありません）。“ビズ”という頬と頬にキスしあう親しい挨拶はなおさらのこと、男性から女性に求めてはなりません。そして、一度ビズの挨拶をすると、以降ビズの挨拶した人とはずっとビズの挨拶になります。風邪引きのときは「今、風邪だからうつしたくないのでビズできないの」とビズできない理由を言います。理由なしにビズの挨拶から握手の挨拶に変えると「あなたとは少し距離を置きますね」の意思表示です。女性はビズの挨拶をするときには、よく考えてからにしてくださいね。

他にも 旅行で大事なことばに「トイレはどこですか？」があります。「う・そん・れ・とわれっと？」と聞いてください。長すぎて覚えにくければ「とわれっと？」で大丈夫です。最初に挨拶の「ぼんじゅう」と最後にありがとうの「めうし〜」を忘れずに付けてください。

喉が渴いたときに、マクドナルド（フランスではマクドと省略していいです）などでコーラを注文する時は「あん・こか」（コーラ 1 本）と言います。「コーラ」や「コーク」は通じにくいです。「こか」と頼んでもペプシコーラが出てくる場合があります。もし、吐き気などがあり普段コーラを飲んでいない方は、コカコーラはフランスではちょっとした民間療法のお薬になります。コカコーラをくるくるかき混ぜて炭酸を飛ばして、すこしずつ飲むと吐き気を抑えて水分補給できます。日本で大量に売っているイオン飲料（ポカリスエットなど）はフランスではあまり流通していないので、気になる方は日本から粉末を持参されてもよいかと思えます。

スリ対策としては、男性はお尻のポケットに財布など貴重品を入れないことです。自分

で監視しやすい前ポケットか、斜めがけのかばんに入れて、人ごみの中ではカバンのチャックを手でガードするほうが無難です。女性も同じで、リュックに貴重品を入れるときは、人ごみの中では背負わずに前にかけて行動してください。普段用心深く生活しているパリの駐在員夫人たちも、グループ行動すると同胞との安心感からか、おしゃべりに夢中になっているとリュックや手提げからスられることがあるくらいなので、みなさん、注意なさってくださいね。

そして、市街地は別ですが田舎の国道（一般道）といえども制限時速は90キロです。田舎道の散歩も車には充分気をつけてください。植生も日本とフランスでは少し違います。触れると、肌がかぶれる植物もあるので（特に毒々しい色の花など）、現地の方に聞いてからさわって下さい。自生しているきのこ類は、現地の方もきのこ狩りをしてから口をつける前に薬局まで出向き、薬剤師に現物をみせて確認する場合があります。「若い薬剤師より経験積んだ薬剤師の方が安心よ～」とフランス人も言うくらい用心するようです。

胸を張って挨拶をして、安全に注意を払いつつ、実りある日仏文化交流を楽しみましょう！

（藤枝・記）



#### 編集後記

「郷に入っては郷に従え」ところ変われば、習慣も常識も変わります。日本で当たり前だと思っていたことが、一步海を渡ると当たり前ではなかった……こんな経験をお持ちの方も少なくないと思います。私もこれまでに何度か、フランスを始めとする外国で恥ずかしい経験をしましたが、日本にいては知る由もなかったこと。少々の失敗であれば、「エクスキューゼモワ（すみません）！」とにっこりスマイルで解決することもあります。フランス訪問メンバーの皆さんも、失敗を恐れずに「郷に入っては郷に従え」。フランス滞在をフランス人になりきって、大いに楽しんできてください！ボンボヤージュ！

（川合）

**事務局：〒662-0911 西宮市池田町11-1 フレンテ西宮4階 秘書国際課内**  
**Tel:0798-35-3468 Fax:0798-32-8673**  
**Home Page : <http://nleg.net>**  
**E-mail: [info@nleg.net](mailto:info@nleg.net)**